



山本 優人 議員

避難路の整備について

質問 津波注意報や警報が発表された場合、あるいは強い揺れを感じた場合には速やかに高台に避難し海面状況の監視をする行動となるが、安全な避難場所とは津波を監視しそれに対応できる高台であって、避難施設ではない。

特に海に近く、急傾斜地が迫っている八森地域の海岸部の住民や河川流域の住民が歩いて高台に向かえる、安全な避難路の整備と誘導標識の設置が必要ではないか。

答弁 自治会の方々の

再質問 町の防災上のメールを議員にも発信してもいいのではないか。

答弁 将来的な災害時の情報提供に有効なのか見極めてから導入を検討したい。

再質問 町の防災上のメールを議員にも発信してもいいのではないか。

答弁 町の防災上のメールを議員にも発信してもいいのではないか。

質問 携帯電話のメール機能を利用し、防災情報を伝達することは無線放送システムの補完上で有効と考える。文字による正しい情報を得られるメールでの情報は自宅不在時でも確認できる防災緊急情報メールの運用、機能の導入の考えを伺う。

答弁 将来的な災害時の情報提供に有効なのか見極めてから導入を検討したい。

質問 意見を聞きながら避難路の整備を進め、高さや方向を示す誘導標識も非常に重要で効果的であり、津波ハザードマップ作成と合わせて、設置して行きたい。

情報伝達について

質問 住民減少が続くと、災害後の後片付けや地域の環境活動が町として大きな負担となりカバーしきれない課題である。その課題を集落民や団体がボランティアとして清掃・除雪・農道補修などを行うことや地域協働作業として自発的発生を促すことも必要であり、その協働作業の支援のため町所有のトラック等の貸出はできないか。

答弁 毎日の作業に支障がでないように車両管理に万全を期しながら運行しているのが実情であり、現状では無理である。協力できるものがあれば支援するので、遠慮無く相談して欲しい。

公用車の貸出について



ボランティア活動で必要なとき公用車の貸出をして欲しい

再質問 町の中の団体、ボランティア団体等が清掃活動やボランティアで必要なときに役場において、必要ならば必要なトラック等、常時出してくれたいことと了解して良いのか。

答弁 必要であれば職員を派遣したり、車も貸し出したりする。相談をしていただきたい。

防災マニュアルの見直しについて

質問 当町では防災マニュアルを昨年全戸配布しているが、その中の津波対策は現実とかけ離れている。津波発生時の避難ルート、避難場所、住民への周知、避難訓練の実施について、八森子ども園・観海子ども園・海光苑の施設の避難に対する指導はどうか。

答弁 現在は海水浴客用として津波警戒表示板を2ヶ所、避難路の矢印表示板を3ヶ所に設置し周知しているが、この度の大震災から想定すると海の近くや標高の低い場所については、避難施設から除く等の見直しが必要と考える。津波ハザード



松岡 清悦 議員

水稲苗の生育不足の原因について

質問 特に「あきたこまち」に多かった苗の生育不足の原因と、農家に対する指導と手立ては。

答弁 種子の発芽不良

ドマップは国や県のデータを活用しながら、避難ルートの確認や場所の選定は自治会の意見を取り入れ、町独自のものを早急に作成する。完成に合わせて避難路への誘導標識等も設置したい。

県民防災の日前後に、八森地区、峰浜地区交互に実践に近い形で総合防災訓練を行っている。子ども園では防災無線による津波情報や避難指示を待つことなく、園長の判断により避難行動を開始する。海光苑では施設職員が入所者を車に乗せ高台へ避難する。防災計画の見直しに基づき、地震・津波を想定した行動計画の指針を施設関係者と検討したい。

と播種期の低温、日照不足が原因と考えられる。JAから購入した「あきたこまち」の消毒済種子を使用した共通点があることから、巡回検討してもらうことにした。JAでは供給元の県産米改良協会に、苗の育成不良と種子の因果関係の調査を申し入れをしており、その結果を待ちたい。

再質問 「何が原因だ。誰の責任だ」でなく、支援できないのか。

答弁 調査の結果を受けてから対応したい。



田植え後の田園風景

八森地区の統合子ども園の建設場所について

質問 旧八森小学校跡地は統合子ども園の場所として適地か。見直すべきでないか。峰浜・八森両地区を視野に入れた子ども園の建設場所設定の機会ではないか。

答弁 統合等検討委員会から答申されているが、見直しをせざるを得ないと判断する。また、検討機関を立ち上げ候補地の選定を進める。子ども園の統合については八森地区から進めていく。

再質問 建設場所の再検討をスピード感を持ってやるべきでないか。峰浜も一緒になって統合するのではなく、将来全町一本にする場合の場所、規模を視野にいれたらどうか。

答弁 見直しをしながら方向性を定める。峰浜地区については統合の空気・考え方が醸成されていない現時点では、想定できないと考えている。